

日本初！ 音楽ロイヤリティの取引サービスが、より身近に！ 取引所「ロイヤリティバンク」がプレ・オープン！

～クリエイターを応援しながら、印税が受け取れる新サービス～

株式会社ロイヤリティバンク(代表取締役 佐々木隆一)は、音楽著作権等の印税取引所を運営する ANote Music Sarl(CEO Marzio F. Schena/ルクセンブルグ大公国)と業務提携を結び、ANote Music のロイヤリティ取引を日本の投資家に紹介するサイト「ロイヤリティバンク」を、2021年4月9日(金)にプレ・オープンします。音楽ロイヤリティに投資することでアーティストを応援し、音楽を楽しみながら配当を受け取るという、音楽文化と投資を融合させた、今までにないサービスが、より身近になります！

【URL】<https://royaltybank.jp>



音楽ロイヤリティに注目が集まっている理由

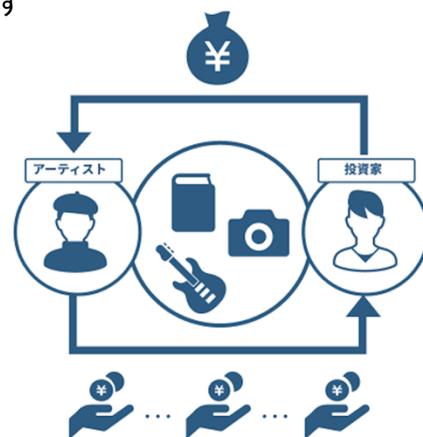
1. ロイヤリティ投資は、「権利者/アーティスト」と「投資家/ファン」が共に創造する知財流通モデルで、両者が共同で作品の付加価値を向上させることができます
2. 音楽市場はデジタル時代に入って成長しており、今後も成長が見込まれています
3. 市場の景気とは何ら相関性を持たない資産運用が可能になります

「ロイヤリティバンク」誕生の背景

アメリカ、イギリス、EU では、音楽著作権や原盤権を持つ企業が証券市場に上場したり、一般投資家が投資できる専門の取引所サービスが注目を浴びています。

<事例紹介>

- * アメリカ: Royalty Exchange (印税取引所)
- * アメリカ: Mills Music Trust (NY 証券取引所に上場)
- * ロンドン: Hipgnosis Song Fund (ロンドン証券取引所に上場)
- * ヨーロッパ(EU): ANote Music (音楽印税取引所)



「ロイヤリティバンク」の使い方・利用シーン

株や債権以外の、オルタナティブ投資の選択肢を探している方、ユーロ資産の保有に興味を持つ方、音楽文化に知見を持つ方などに向け、ANote Music に上場されたカタログ(作品集)取引の仕方について案内し、ロイヤリティ投資を体験していただきます。6 月には日本のカタログを上場した取引所が本オープンします。

今後の事業展開

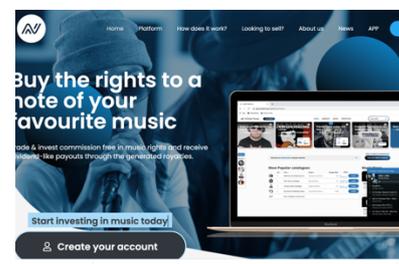
2021 年 6 月に世界初となる 2 タイプの総合ロイヤリティ取引所をオープンする予定です。ひとつは小口投資が可能な「ロイヤリティ取引所」、もうひとつは機関投資家向けの「ロイヤリティ PRO 取引所」です。両方ともに、馴染みのある日本のカタログ(作品集)を上場する予定です。ぜひご期待ください！

株式会社ロイヤリティバンクについて

クラシック音楽の総合情報誌『ぶらあぼ』を発行する、ぶらあぼホールディングスの子会社として 2021 年 1 月に設立。オープンなプラットフォームにより、印税取引の仲介事業を手がける日本初の企業となる。特徴の異なった複数の市場を運営し、流通の活発化により、日本のコンテンツ産業への貢献を理念に掲げている。

提携先: ANote Music Sàrl について

2018 年に設立。ルクセンブルグに本社を置く、音楽印税取引プラットフォームの運営会社。ブロックチェーンを活用したシステムで、データは安全に管理されている。2019 年、優秀なスタートアップ企業に与えられる FIT 4 START Acceleration を受賞。ルクセンブルグ大公国経済省のサポートを受けている。



©ANote Music

【会社概要】

会社名: 株式会社ロイヤリティバンク

所在地: 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-2-6 田中ビル 3F

代表者: 佐々木隆一

設立: 2021 年 1 月 18 日

URL: <https://royaltybank.jp/>

事業内容: 印税取引の仲介事業

【お客様からのお問い合わせ先】

株式会社ロイヤリティバンク

TEL: 03-6260-8303 (土日祝を除く 10:00~18:00)

e-mail: info@royaltybank.jp

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

株式会社ロイヤリティバンク

事業担当者 坂上晃一(取締役社長)

電話 03-6260-8303

メール info@royaltybank.jp

住所 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-2-6 田中ビル 3F

やり方は簡単、株取引に似ているけれど、
配当は市況との連動性がなく、リスク分散にもぴったり！

印税の取引は、株の売買によく似ています。ただ株における銘柄は「カタログ」と呼ばれる作品集となり、株数は「シェア数」と呼ばれます。そして配当とは株の場合なら、株式を発行する企業の利益から分配されますが、ロイヤリティ取引所における配当は、印税の一部そのもの。しかも印税の増減は、市場動向との相関関係がないとされています。

HOW to USE

著作権購入の方法について

STEP1 カタログを選ぶ	カタログとは作品の集合体。どんな作品が含まれるか、作品数、どんな権利に基づいた印税か、過去1年に稼いだ印税額、印税を受け取る期間など、諸要素はカタログにより異なります。納得いくまで選んでください。
STEP1 カタログを買う	アカウントを作成と電子財布 (e-wallet) が開設されます。そこにデビット (購入金) を入れてください。購入金の範囲で、カタログを買うことができます。出納はマイページでいつでもチェックできます。
STEP1 配当を待つ または売る	配当は年に2回や4回の場合が中心です。あなたの電子財布に入金され、登録済みの銀行口座からいつでも引き出すことができます。セカンダリーのカタログの場合、購入したカタログを売ることもできます。